

Amir Tsarfati 氏 2018年12月25日公開
2019年に向けて、アミールからひとこと

.....
2018年が終わりにさしかかり、主がしてくださった事を振り返って、喜んでいます。

しかしながら、2019年に向けて、主が、私の胸に置かれたメッセージは、非常に高らかに鳴り響くもので、「しっかりやり遂げなさい！」

そうです。

私達は、終わりに近づいています。全ての兆候は見られています。全てのしるしは、現場にあります。全ての役者が揃っています。

私達は、滅びない世代です。私達の世代は、他のどの世代よりも欺きを経験しています。

それは、ただ単に、デジタルの世界では、簡単に、あっという間に騙されるからです。

問題は・・・私は、私自身と皆さんに問うために、これを投稿しています。：あなたが気にかけているのは、この世での人生が全てですか？ この世の人生が、あなたの持つ全てですか？ “そこから” 最大限に何かを得る” 事が、全てですか？ あなたの思考の中では、この世のことが主な問題で、それがあなたの人生で一番の目標ですか？

著名な牧師が、末期の癌で余命3週間ほどと宣告された彼の息子さんの言葉を語るのを耳にしました。息子さんは、彼に言ったそうです。

「お父さん、次に起こる事を考えると、ものすごくワクワクするよ！」

もう一人、ここイスラエルで牧師をしている私の親しい友人が、私に言いました。

「私が死んだら、誰にも、私をこちらへ呼び戻すような事はさせないでくれ！ そんな事をしたやつは、殺してやる！」

あなたは、この世に二度と住みたくないと思うほど、永遠を思ってワクワクしていますか？ 天国は、あなたの家ですか？ それとも、この世？ ホームシックにかかるのは、あなたの家のある場所に対してのみです！

あなたは、後に来る人生にワクワクしながら、今の人生を正直に生きることが出来ますか？ あなたにとっては、この世が最後ですか？

朝目が覚めて一日が始まる時、あなたが、喜ばせたい、感動させたいと思うのは、誰ですか？

” ...すべての世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢などは、御父から出たものではなく、この世から出たものだからです。”

(第一ヨハネ 2:16)

2019年、あなたは正直にこう言う事が出来ますか？

”…私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。…”

(ピリピ 1:21)

ゴールが近づいています。私達は、自分の心を調べ、自問しなければなりません。：主が戻って来られた時、私達は、確実に主に、“…よくやった。良い忠実なしもべだ。”(マタイ 25:23)と言ってもらえるだろうか？

友よ。最後までやり遂げよう。最後まで強くあろう！

“…こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

あなたがたは、地上のものを思わず、天にあるものを思いなさい。

あなたがたはすでに死んでおり、あなたがたのいのちは、キリストとともに、神のうちに隠されてあるからです。

私たちのいのちであるキリストが現われると、そのときあなたがたも、キリストとともに、栄光のうちに現われます。

ですから、地上のからだの諸部分、すなわち、不品行、汚れ、情欲、悪い欲、そしてむさぼりを殺してしまいなさい。このむさぼりが、そのまま偶像礼拝なのです。

このようなことのために、神の怒りが下るのです。

あなたがたも、以前、そのようなものの中に生きていたときは、そのような歩み方をしていました。

しかし今は、あなたがたも、すべてこれらのこと、すなわち、怒り、憤り、悪意、そしり、あなたがたの口から出る恥ずべきことばを、捨ててしまいなさい。

互いに偽りを言うてはいけません。あなたがたは、古い人をその行ないといっしょに脱ぎ捨てて、新しい人を着たのです。新しい人は、造り主のかたちに似せられてますます新しくされ、真の知識に至るのです。

そこには、ギリシヤ人とユダヤ人、割礼の有無、未開人、スクテヤ人、奴隷と自由人というような区別はありません。キリストがすべてであり、すべてのうちにおられるのです…”

(コロサイ 3:1-11)

主の戻りを待ち望む。

アミール・ツアルファティ

日本語訳 木下佳世